

1. 製品及び会社情報

製品名 モノタロウ シャーシーブラック(油性)
 会社名 株式会社MonotaRO
 所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
 担当者名 商品お問合せ窓口
 電話番号 0120-443-509
 FAX番号 0120-289-888
 緊急連絡先 所在地と同じ
 整理番号 M160902

2. 危険有害性の要約

・GHS分類

物理的／化学的危険性

人の健康に対する有害な影響

環境への影響

・GHSのラベル要素

絵表示／シンボル:

- ・可燃性／引火性エアゾール区分1
- ・引火性液体 区分2
- ・急性毒性(経口) 分類できない
- ・急性毒性(経皮) 分類できない
- ・急性毒性(吸入:気体) 分類対象外
- ・急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない
- ・急性毒性(吸入:粉塵およびミスト) 分類できない
- ・皮膚腐食性・刺激性 区分2
- ・眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 分類できない
- ・呼吸器感作性 分類できない
- ・皮膚感作性 分類できない
- ・生殖細胞変異原性 分類できない
- ・発がん性 分類できない
- ・生殖毒性 分類できない
- ・特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分3(気道刺激性、麻醉性)。
- ・特定標的臓器毒性(反復暴露) 区分2(肝臓、精巣)。
- ・吸引性呼吸器有害性 分類対象外
- ・水生環境急性有害性 区分1
- ・水生環境慢性有害性 区分1
- ・オゾン層への有害性 分類できない



注意喚起語:

危険有害性情報:

注意書き:

安全対策

・危険

極めて可燃性/引火性の高いエアゾール。引火性の高い液体および蒸気。高圧容器;熱すると破裂のおそれ 皮膚刺激。呼吸器への刺激のおそれ。眠気やめまいのおそれ。長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそれ。水生生物に非常に強い毒性。長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性。
 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。裸火または他の着火源に噴霧しないこと。容器を密閉しておくこと。容器を接地しアースを取ること防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する措置を講ずること。使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。取扱後は手をよく洗うこと。屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。環境への放出を避けること。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置	気分が悪い時は医師等に連絡すること。気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。特別な処置が必要である。(ラベル参照)。漏出物を回収すること。皮膚に付着した場合：多量の水等で洗うこと。皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。火災の場合：記載の消火剤を使用すること。
保管	施錠して保管すること。換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。日光から遮断し、40℃以上の温度に暴露しないこと。
廃棄	内容物および容器は記載方法にしたがって廃棄すること
3. 組成、成分情報 物質／混合物の区別 化学名／含有量：	・混合物エアゾール製品 ・ミネラルスピリット (Mineral spirit) : 80wt% (原液中重量比) ・プロパン (Propane) : 20wt% (原ガス中重量比) ・ブタン (Butane) : 80wt% (原ガス中重量比)
4. 応急措置 吸入した場合：	・新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師を呼ぶこと。
皮膚に付着した場合：	・汚染された衣類を脱ぐこと。皮膚を速やかに洗浄すること。多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
眼に入った場合：	・水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合：	・吐かせないこと。口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
5. 火災時の措置 消火剤：	・粉末消火剤、散水、噴霧水、一般の泡消火剤。
6. 漏出時の措置 人体に対する注意事項、 保護具、緊急時措置：	・漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立入りを禁止する。作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。風上に留まる。低地から離れる。密閉された場所に入る前に換気する。
環境に対する注意事項： 回収、中和：	・河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 ・少量の場合、乾燥土、砂や不活性吸収剤で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所へ導いて回収する。大量の場合、散水は、蒸気濃度を低下させる。しかし、密閉された場所では燃焼を抑えることが出来ないおそれがある。

7. 取扱い及び保管上の注意

・取扱い

技術的対策:

局所排気、全体換気:

注意事項:

接触回避等の取扱上の注意:

・保管

技術的対策:

保管条件:

混触禁止物質:

容器包装材料:

・作業場の換気を十分に行い、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し、直接の接触を防ぐ。

・周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。接触、吸入又は飲み込まないこと。空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。取扱い後はよく手を洗うこと。屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。環境への放出を避けること。

・「10. 安定性及び反応性」を参照。

・保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりや不燃材料で作ること。保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量の不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ、適切なためすを設けること。保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

・熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。酸化剤から離して保管する。容器は直射日光や火気を避けること。容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。施錠して保管すること。

・「10. 安定性及び反応性」を参照。

・消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度(暴露限界値、

生物学的暴露指標):

・保護具

呼吸器の保護具:

手の保護具:

眼の保護具:

皮膚及び身体の保護具:

(ミネラルスピリットとして)

・TLV-TWA 100ppm

・適切な呼吸器保護具を着用すること。

・適切な手袋を着用すること。

・適切な眼の保護具を着用すること。

・衣類、顔面用の保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など:

臭い:

pH:

融点、凝固点:

沸点、初留点、沸騰範囲:

引火点:

爆発範囲:

蒸気圧:

蒸気密度(空気=1):

比重(密度):

溶解度:

オクタノール-水分配係数:

自然発火温度:

分解温度:

(エアゾール原液の情報:ミネラルスピリットとして)

・エアゾール

・特徴的な臭気

・データなし

・-70°C(凝固点)

・130-230°C(沸点)

・21°C

・下限 0.6vol% 上限 8.0vol%

・0.1-1.4kPa (20°C)

・4.5-5

・0.63

・水に不溶

・データなし

・230-240

・データなし

10. 安定性及び反応性

安定性:

危険有害反応可能性:

避けるべき条件:

混触危険物質:

危険有害な分解生成物:

(ミネラルスピリットとして)

・通常条件では安定である。

・空強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。

・空気との爆発限界内の混合ガスの形成。

・強酸化剤

・一酸化炭素

11. 有害性情報
- 急性毒性: ・データなし
 - 皮膚腐食性, 刺激性: ・データなし
 - 眼に対する重篤な損傷, 刺激性: ・データなし
 - 呼吸器感作性／皮膚感作性: ・データなし
 - 生殖細胞変異原性: ・データなし
 - 発がん性: ・データなし
 - 生殖毒性: ・データなし
 - 特定標的臓器毒性-単回暴露: ・データなし
 - 特定標的臓器毒性-反復暴露: ・データなし
 - 吸引性呼吸器有害性: ・データなし
12. 環境影響情報
- 生態毒性: ・データなし
 - 残留性, 分解性: ・データなし
 - 生体蓄積性: ・データなし
 - 土壤中の移動性: ・データなし
 - オゾン層への有害性: ・データなし
13. 廃棄上の注意:
- 残余廃棄物: ・廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
- 汚染容器, 包装: ・容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意
- ・国際規制
 - 国連番号: ・1950
 - 国連品名: ・AEROSOLS (maximum 1 litre)
 - 国連分類: ・高圧ガス
 - 国連項目: ・引火性高圧ガス
 - 国連等級: ・2.1
 - 海洋汚染物質: ・Not applicable
15. 適用法令
- ・労働安全衛生法: 名称等を表示・通知すべき危険物及び有害物(法第57条、第57条の2、施行令別表第9)(政令番号 第551号) 第3種有機溶剤等(施行令別表第6の2、有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第5号)。
 - ・消防法: 第4類引火性液体、第1石油類非水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1)。
 - ・船舶安全法: 引火性液体類・可燃性のガス(危規則第2, 3条危険物告示別表第1)。
 - ・航空法: 引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)。
16. その他の情報
- ・データなし